

實相寺 花園会報

令和三年
九月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第149号

お寺の掲示板

月かげの

いたらぬとは

なけれども

ながむる人の

心にぞすむ

法然上人

この歌は浄土宗の開祖、法然上人の作です。

「月の光が届かない場所はないが、そこに住む人の心が澄んでいないとその光にも気がつかない」という意味です。この光とは、浄土教的に言えば如来の慈悲心、本願力であり、禅的に言えば私達に本来具わる仏心のことでしょう。また亡くなられたご先祖様をはじめとする、様々なおかげさまでとしても受け取れます。肝心なことは、それは向こう側にあるのではない、と言うことです。

境内一斉清掃

8月1日午前7時半より、26名のご参加を頂き、お盆前境内一斉清掃を実施しました。清掃後は8月4日ご命日の秋月院殿塔と無縫塔に参加者皆様とお参りしました。

普段住職一人では大した作務も出来ませんので、お手伝い頂き大変助かっております。皆様有難うございました。



お盆合同法要

8月15日午前9時より、棚経でお宅にお伺いする代わりに、お寺で合同に行うお盆法要を厳修しました。数年前、最初は2、3軒で始まりましたが、昨年よりはコロナ禍もあって申し込みが増加し、今年は25軒でしたが、そのうち7軒のご家族はNOON参加でした。県外の方もお気軽に参加できます。



「ありがとうございました。」

先月号で「棚経の際、皆様の率直なご意見をお願いします」と書いたところ、おかげさまで実に多くの方々から様々なご意見を頂戴することが出来ました。

その為、今年の棚経は全体的に遅れがちで、時には予定時間よりも1時間以上遅れたケースもあり、ご迷惑をお掛けした皆様にはお詫び申し上げます。しかしながら、普段余りお話する機会のない方々からのご意見を伺えたことは、本当に有り難く、感謝申し上げます。

総じて「日供講」に関しては、協力的なご意見が殆どでしたが、それ以上に實相寺の将来や後継者のことを心配して下さる方が、想

像以上に多かった印象です。

事前の予想としては、今どきの世相を鑑みて、「お寺のことには無関心な方が多いのではないか。あまり意見も聞けないのでは無いか」と考えていたのですが、年配の方ばかりでなく、比較的若い現役世代の方も、色々と関心を持って頂いていたことは嬉しい驚きでした。殆ど誰も読んでくれてはいないだろう、と思っていたこの会報なのですが、意外と皆さん目を通して下さっているんですね。

正直、これまではほとんど誰からも必要とされていないお寺を、自分一人で背負っている様な寂しい感覚でいたのですが、それは大きな間違いだったとあらためて感

じました。本当に思い上がっていたなと反省すると同時に、多くの皆さんに支えられていることに感謝感激しております。

それもこれも、やはりこうした場を通じて情報を発信し、会員の皆さんにも問題意識を共有して貰えているからだと自分なりには考えております。

さて「日供講」に関しては、また役員会を経て、正式に御案内したいと思いますが、そもそもが花園会費の値上げという話ではありませんので、あくまでも「無縫塔」の新規申し込みを推進する起爆剤として「月々三千円の永代供養」という基本スタンスで進めていきたいと思いますが、「實相寺の運営

安定に資する」という趣旨に、ご賛同頂ける方はどなたでも加入頂けるものと思います。

境内一斉清掃参加者一覧

(敬称略・順不同)

【花園会】

新居邦俊、天野拓、三崎屋雅之、高見政己・潤一郎、天野洋一、中井一誠、天野秀俊、相良須美代・朱美、佐野幸治、渋谷幸一、島田タカ子、関博之、中井雄三、中井敏之、中井愛雄、錦織一男、松本幸一・真理子、山崎正晃、山下正城、渡辺浩。

【坐禅会】

岩見明浩、戸澤祐二、清水微。以上合計26名の皆様、有難うございました、お疲れ様でした。